

第1回半田市議会臨時会 文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、本日、午前10時から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業のうち、超過勤務手当について、予算の内訳はどのようなか。とに対し、

本部体制職員22名の3か月分を計上しており、一人あたり月額3万7千円程度を見込んでいます。とのこと。

非課税世帯が約9千800世帯と多いように感じるが、その内訳はどのようなか。とに対し、

半田市においては、非課税世帯のうち約7割が高齢者世帯となっております。とのこと。

消耗品費80万9千円の内訳として、主な内容は何か。とに対し、

紙やインクトナーなど印刷に係る費用をはじめ、本部体制を整えるための電話や窓口でのトラブル防止のために防犯カメラを設置するものです。とのこと。

DV等で世帯が分かれる場合への給付はどのように考えているか。また、どのように周知するのか。とに対し、

給付金は、現在、居住している自治体で給付を受けることとなるため、住民票が無くても給付要件を満たせば支給します。

周知方法としては、市報、ホームページをはじめ、関係機関への連絡を行う予定です。とのこと。

家計急変世帯の対象者にはどのように周知を行うのか。また、個別通知の実施については検討したのか。とに対し、

周知方法は、市報、ホームページをはじめ、社会福祉協議会や、市のくらし相談室など生活にお困りの方が来所される場所で案内を考えています。

個別通知については、対象者の判別が難しいことから、考えておりません。とのこと。

システム改修委託料の内訳はどのようなか。また、人件費については妥当性を確認しているか。とに対し、

システムのパッケージ費用が約300万円、人件費として約300万円を計上しています。人件費については、予算の段階では概算での計上となるため、契約の際にさらに内容を精査し、金額の妥当性を確認します。とのこと。

生活困窮者自立支援金支給事業について、本補正では、何世帯分の予算が計上されているのか。とに対し、

令和3年度内に支払いが発生すると見込まれる世帯が121世帯あり、そのうち69世帯分は既に予算計上していますので、不足する52世帯分の予算を追加するものです。とのこと。

新たな対象者への周知はどのように行う予定か。とに対し、

対象者のデータが県の社会福祉協議会から提供されるため、対象者へは、その都度、通知文書を送ります。とのこと。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について、前倒しにより新たに対象となる人が6300人では全体と比べると少ないように感じるが、どのような人が対象となっているのか。とに対し、

本予算では、令和4年4月に接種する予定であった人が、令和3年度中に接種することとなった場合に対象となるものです。とのこと。

愛知県独自の方針により、接種期間は、今後さらに前倒しをするようだが、今回の接種対象者以外にはどの程度の人数がいるのか。とに対し、

今回の前倒しにより4月の接種を予定していた高齢者500人程度が、さらに本年度への前倒しになると見込んでいます。とのこと。

ワクチンの種類の内訳はどのようなか。また、交差接種による接種控えが懸念されるがどのように対応するのか。とに対し、

ワクチンの種類は、ファイザー社製が約6割、モデルナ社製が約4割です。接種控への対応としては、交差接種に関する情報を市報や個別通知にて十分、周知してまいります。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。